

2014年 梅まつり俳句優秀作品

榎本 達 選

特選

盆梅に生きる証しの香りかな

府中市

保坂俱孝

評 花も「生きる証し」ですが、香りは一層強くそれを感じさせるでしょう。

在りし日の父に光明くれし梅

府中市

城間郁代

評 梅はお父様が愛してやまない存在だったことがうかがえます。

榛の木の影のゆらぎや水温む

府中市

高柳玲子

評 榛の木の幹や枝が地上に水面にわずかに揺れながら影を落とします。

折しも水温む頃で、影を眺める人の肩の力も自然に抜けてきます。

優人の集ふ雛壇うす明り

府中市

勝浦孝夫

評 優しく美しい雛が壇の上に並ぶさまを、「優人の集ふ」とした表現は

優雅で巧みだと思われました。

飾られてかぶろとなりし古雛

世田谷区

中尾恵美子

評 雛に髪がなくなってしまうとは、いかにも哀れです。

佳作

月影のふふみそめをり梅日和

府中市

直木葉子

梅の香にさそはれ遊ぶ目白たち

府中市

川辺万吉

うめのはなたのしいきもちよんでくる

小平市

松尾春花

郷土の梅咲きそめし頃母は逝く

府中市

清水喜久江

幼児の指さす先や梅の花

府中市

池田 遜

梅が香をめでて昼餉の輪に集ひ

府中市

塩澤登美子

憂きことの解けてふる里梅真白

府中市

芝 喜久子

水音の奔りて野梅ひらきそむ

川崎市

藤原幸子

蔵壁を手尺で測る梅日和

府中市

柿谷妙子

久方の日ざしの誘ふ梅の園

府中市

志田礼子

(敬称略 新漢字・歴史的仮名遣い 順不同)